

敬天千里眼情報

番外編

知性も理性も感じられない地方議員の体たらく 水戸市議会議員・松本勝久先生のご都合主義

水戸市議会議員の松カツ親分に纏わる投書が後を絶たない。松カツ親分に虐められてきた人たちは、当紙の追及記事に最初は様子を見るだけで息を潜めていたけれど、勇気を持って立ち上がりつつあるという事だ。

松カツ親分のご都合主義のお蔭で、水戸市の様々な立場の御仁に問題が飛び火している。当社には、毎日のように投書や、朝昼晩と水戸市の不条理を告発する電話がくるようになった。松カツ親分は本当に当紙にとっても水戸市にとっても迷惑な先生である。

例えばこんな話もある。

県信の名で茨城県民に親しまれている茨城信用組合。ここのドンは御年91歳という。未だに茨城県のドンというから、もうそろそろ解放してあげた方がいいんじゃないか、余程のことが無い限りもう書かない、と先日インターネットのHPブログで書いたら、「時々は書いて欲しい。幡谷祐一氏はお爺ちゃんでも、幡谷祐一氏の名前を使って、強引に事を進めたり、有利に事を運ぼうとする輩がいるからです」という。

なるほど、そういうことは十分に考えられるな。金も名誉も力もあれば、何もいらぬはずだもんな。まーしかし、強欲な奴は死ぬまで強欲とも言うからな。

今日の投書には「水戸協同病院の院長は幡谷祐一氏が連れてきました。その院長が華原朋美似の看護師に手を出して、看護師は離婚しました。」とある。

しかし、こんなことまで幡谷氏のせいにしたら、ちょっとね。だって院長がいないから（誰も連れて来れないから）、幡谷氏が連れてきてくれたんだろう？先ずは感謝しなきゃ。

その結果、「珍手」を出して使う、変なおじさんの院長だというなら、みんなで「辞めろコール」すればいいんじゃないの。だけど、下半身に人格なし、と昔から言うぐらいだから、多少寛大に見てあげないと、院長がいなくなると近隣の人も困るんじゃないの？華原朋美似だったら、院長じゃなくとも、男はぐらっとくるよ。

東京ならともかく水戸だよ。水戸じゃ華原朋美似なんてそうはいないだろう？この投書は結局何が言いたかったわけ？端的に言えば、「院長であるなら人格も評価されるべきで、子供もいる平穩に暮らしている家族の仲を引き裂いていいのか？」ってことかな。

これは当紙の範疇じゃないな。医療報酬詐取とか、看護師数や患者数の誤魔化しとか、そういうことなら、当紙の出番だが、これは「他を当たってくれ」って言うやつだな。

今、当紙で水戸の市議会の不条理を糾弾してるもんだから、水戸の話なら何でもいいと思つての投書だろうけど、何でもいいけど、基本的には不正、疑惑、不条理でなければ取り上げません。

それも弱者や一般人ではなく、権力者、実力者、政治家等、何かの業界を牛耳っているようなドンの話を特に受け付けます。そして、それらの不条理を世に晒し、世間の常識に判断して貰うのです。

今回はたまたま水戸市議会議員の松カツ爺さんの「御都合主義（わがまま）」が余りに破廉恥だったので、思いのほか、投書が多くなりました。幾ら水戸が天狗の本家とは言っても、不条理が過ぎれば、鼻をへし折られるのは世の常です。

今のところ、水戸の常識は日本の非常識である。

敬天新聞社は、世の中に蔓延る不条理を糾します。

<http://www.keiten.net>